

中長期の重要課題についての論点整理

2023年11月6日

十倉 雅和

中空 麻奈

新浪 剛史

柳川 範之

中長期の課題を議論するに当たって、政府が取り組むべき使命(ミッション)として、「人口減少・少子高齢化を乗り越え、国民が明るい希望を持ち、豊かさと幸せを実感できる経済社会を実現していくこと」とすべき。

そのミッションの実現に向け、10～20年先を見据え、例えば以下に掲げたような、目指すべき姿(ビジョン)を設定すべき。

その上で、今後3～5年程度に取り組むべき包括的取組(アプローチ)を明らかにすべき。

【ビジョン1:人口減少下で持続的な経済成長を実現する】

- ① DX・GXの推進、無形資産(人材、R&D、知財等)への投資強化等を通じた生産性の上昇で人口減をカバーする
- ② フロンティアを拡大し、海外を取り込みつつ国内への資金流入を拡大するとともに、金融、人的、物的資産の活用、エネルギー改革等を通じて、所得流出を抑制する
- ③ 地方における人口減少が進む中、最大限のDX推進や関係人口の拡大を通じて、地域の特性やネットワークを活かしたビジネスやサービスを活性化させる

【ビジョン2:分厚い中間層を拡大し、国民の幸福感を高める】

- ④ 予防・健康づくりやリスクリングの強化を通じて、正規化・生涯現役・子育てや介護の両立等の働き方改革を進めるとともに、共助の拡充等を通じて社会課題を解決する
- ⑤ 全世代型社会保障及び財政の持続可能性を確保するとともに、地域の実情に応じた地方行政サービスの提供を通じて、将来にわたる安心の基礎を固める
- ⑥ DXを通じた迅速・効果的な行財政システムの実現により、一人ひとりの実情に応じた公共財・公共サービスを提供する

【ビジョン3:国民生活の安全・安心を高める社会を構築する】

- ⑦ 大地震等の災害やサイバーセキュリティへのソフト・ハード両面の備え、安全保障の取組、インフラの維持管理の強化により、国民生活の安全・安心を高める

◎目指すべき姿(ビジョン)に関する主な論点

- ・ 希望出生率の見方を含め、今後の人口をどのように見通すか
- ・ 人口減少の下、中長期的な生産性、経済成長の姿や目標はどうあるべきか
- ・ アジアで高齢化が進む中、競争力ある日本のグローバル戦略の姿をどう描くか
- ・ エネルギー需給の鳥瞰図を描き、脱炭素目標とどのように両立させるか
- ・ 分厚い中間層の拡大、国民の幸福感の向上に向けて、どのような目標を掲げるべきか
- ・ 将来確保すべき社会保障サービスの量的・質的な姿をどのように描くか
- ・ 地域の将来人口に応じた必要な地方行政サービス、インフラの姿をどのように想定するか
- ・ 多様化する国民ニーズを踏まえた自助・共助・公助の姿はどうあるべきか

◎包括的取組(アプローチ)に関する主な論点

(※明朝体は短期的な政策対応)

①	<p>・フロンティアを生み出し、新陳代謝を促す取組をどう加速するか。</p> <p>・無形資産への投資強化に向けた課題は何か。</p> <p>中小企業・サービス業のDX促進、研究開発力の強化と実装、中長期的計画に基づく官民投資</p>
②	<p>・自由貿易体制と経済安全保障の両立の下で、企業の予見可能性を高めるために何が必要か。</p> <p>・グローバル経済の活力をいかに取り込むか。</p> <p>・エネルギー転換・コスト抑制に向けた包括的取組をどう進めるか。</p> <p>サプライチェーン強靱化・データ流通・知財AIルール、対日直投促進、中小企業の海外展開・インバウンド活性化、省エネ・省力化</p>
③	<p>・地域課題の解決を原動力にした地域発の経済好循環をどのように創り出していくのか。</p> <p>・医療介護連携、生活支援サービスのコンパクト化をどのように街づくり、都市計画に反映させていくか。</p> <p>スタートアップ地域展開、まちづくりと医療介護・生活支援サービスの連携</p>
④	<p>・生涯現役で働ける仕組みづくりには何が必要か。</p> <p>・分厚い中間層の拡大に向けた分配政策、人材育成、正規化促進、労働市場改革、学びの支援、共助の拡充をどう進めていくか。</p> <p>予防・健康づくりと高歳就労の制度改革、働き方改革(ジョブ型、女性の正規化)とリスクリング、こども政策</p>
⑤	<p>・人口減少・少子高齢化の下、DXの活用でいかにサービスの質を高め、また、いかに経済・財政・社会保障の持続可能性を高めていくか。それに向けて、財政・社会保障の展望を明らかにすべきではないか。</p> <p>・将来の地域人口見込み、自治体の財政・定員の状況等を踏まえ、地域の実情に合った持続可能な医療・介護サービスの提供体制や地方行財政システムをどのように構築していくか。</p> <p>経済・財政一体改革の強化、地域医療再編・介護連携、医療・介護DX、広域行政</p>
⑥	<p>・多年度の支出(計画・基金等)、国・地方の予算・執行・決算の流れのデジタル把握を進めるべきではないか。</p> <p>・国によるDXによる給付インフラ基盤の一元化、制度改革に係る評価分析機能の強化が必要ではないか。</p> <p>国・地方の一气通貫のデジタル連結、給付インフラ基盤の一元化、基金の執行管理・開示</p>
⑦	<p>・人口減少下で老朽インフラ対策について、メリハリのある取組指針を国主導で出すべきではないか。</p> <p>・防災・減災については、人口減少・高齢独居化の進展を前提として、ソフト面・ハード面からの目標を掲げ、公助に加え、自助・共助の観点からの対応を強化していくべきではないか。</p> <p>インフラ長寿命化・広域化、PPP・PFIの推進、国土強靱化</p>